

問1 律令国家において、「班田収授法」に基づき人々に与えられた「口分田」の仕組みについて、正しく説明しているものはどれですか。（2018年 大阪公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 戸籍に登録された6歳以上の男女に与えられ、本人が死ぬと国に返還する決まりだった。 | 2. 戸籍に登録された15歳以上の男子のみに与えられ、子孫が代々受け継ぐことができた。 | 3. 新しく土地を開墾した者に与えられ、その者の私有地として永久に所有することが認められた。 | 4. 有力な貴族や寺院に対してのみ与えられ、その収穫はすべて個人の利益となった。 |
|---|---|--|--|

問2 奈良時代、律令国家の体制が整う中で、中央政府が地方の実績や資源を把握するために各国に命じて作成させた、地域の自然、産物、伝説などを記録した報告書を何と称しますか。（2017年 岐阜公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 風土記 | 2. 日本書紀 | 3. 万葉集 | 4. 古事記 |
|--------|---------|--------|--------|

問3 701年に制定され、唐の法律を参考にしながら、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を整える基礎となった法律を何と呼びますか。（2016年 岩手県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|----------|-----------|-----------|
| 1. 大宝律令 | 2. 御成敗式目 | 3. 十七条の憲法 | 4. 公事方御定書 |
|---------|----------|-----------|-----------|

問4 聖武天皇が多大な労力と費用をかけて東大寺の大仏を造立しようと考えた、当時の社会的な背景として正しいものはどれですか。（2015年 佐賀公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 伝染病の流行や政治的な動揺が続いたため、仏教の力で人々の不安を解消し国を安定させたことから | 2. 唐（中国）からの軍事的侵攻に備えるため、強力な神仏の加護を得て海岸線の防備を固めたことから | 3. 新しい都である平安京への遷都にあたり、旧勢力を牽制するために巨大な権威を示す必要があったから | 4. 墾田永年私財法によって得た私有地の開墾が順調に進んだため、農民に感謝を伝える祭礼の場が必要だったから |
|--|--|---|---|

問5 7世紀から9世紀にかけて、日本が唐（中国）に「遣唐使」を派遣した最大の目的として、最も適切なものはどれですか。（2017年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------------------|----------------------------|-----------------------------|---------------------------------|
| 1. 唐の進んだ制度や文化を取り入れること | 2. 唐と軍事同盟を結び、朝鮮半島へ共同出兵すること | 3. キリスト教の布教を日本で許可してもらうための交渉 | 4. 日本の特産品を売って銀や銅などの資源を大量に獲得すること |
|-----------------------|----------------------------|-----------------------------|---------------------------------|

問6 律令制度における「調」の制度について、その負担の性質や背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2016年 山形県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 各地の特産物を都まで自力で運ぶ必要があり、運搬の費用や食料も負担者側が用意した。 | 2. 地方の役所に備蓄するための稲を納めるもので、飢饉の際の救済手段として機能した。 | 3. 都での肉体労働に従事する義務のことで、主に都の造営や警備のために利用された。 | 4. 女性や子供を主な対象とした税であり、家庭で作られた工芸品を納めることで免除された。 |
|---|--|---|--|

問7 古代の日本において、天皇を中心とした国づくりを推進するために実施された大規模な事業について、学習ノートの記述として正しいものはどれですか。（2017年 長野県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------------|-------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. 平城京を造営し、国家の威信を内外に示した | 2. 御成敗式目を制定し、武士に対する裁判基準を明確にした | 3. 廃藩置県を実施し、地方支配を中央政府の直轄とした | 4. 墾田永年私財法を廃止し、すべての土地を公地とした |
|-------------------------|-------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|

問8 奈良時代の政治の中心となった平城京の構造やその背景について述べた文として、最も適切なものはどれか。（2022年 愛媛公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 当時の東アジアで強大な勢力を持っていた唐の長安を模範とし、大規模な都市計画に基づいて建設された | 2. 山や海に囲まれた要塞としての機能を重視し、武士の館を中心とした複雑な路地を持つ構造となった | 3. 天皇の権威を示すため、古墳時代の伝統的な前方後円墳の形を模した区画割が採用された | 4. 商業の発展を優先し、各地からの物資が集まりやすいよう海沿いの港町として設計された |
|--|--|---|---|

問9 律令制度のもと、唐や新羅といった大陸勢力からの攻撃に備え、九州北部の防備を固めるために東国などから派遣された兵士を何と呼びますか。（2020年 福島県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 防人 | 2. 健児 | 3. 衛士 | 4. 足軽 |
|-------|-------|-------|-------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 戸籍に登録された6歳以上の男女に与えられ、本人が死ぬと国に返還する決まりだった。	大化の改新以降、土地と人々はすべて天皇のものとする「公地公民」の原則が立てられました。これに基づき、政府は戸籍を作成して人々の把握に努め、6歳以上の男女に一定の土地（口分田）を貸し与える班田収授法を実施しました。この土地はあくまで国から借りているものという位置づけであったため、本人が亡くなると国に返す必要がありました。
問2	答え 1 風土記	律令政府は地方を統治するにあたり、各国の地名の由来や土地の肥沃さ、産出される産物、さらには古くから伝わる伝承などを調査し、報告させる必要がありました。こうしてまとめられた地理書は「風土記」と呼ばれ、現在は出雲国（島根県）のものがほぼ完全な形で残っているほか、数カ国の内容が今日に伝わっています。
問3	答え 1 大宝律令	文武天皇の時代の701年に完成したこの法律は、刑罰に関する「律」と、政治の仕組みや行政に関する「令」から構成されています。これによって、日本は法に基づき官僚が実務を担う本格的な律令国家としての体制を確立しました。
問4	答え 1 伝染病の流行や政治的な動揺が続いたため、仏教の力で人々の不安を解消し国を安定させたかったから	当時の日本は、天然痘（疫病）の爆発的な流行や、藤原広嗣の乱などの政治的な反乱により、社会全体が非常に混乱していました。聖武天皇はこうした危機的な状況を乗り越えるため、国家の力を結集して巨大な大仏を造り、人々の心を一つにまとめようと考えました。
問5	答え 1 唐の進んだ制度や文化を取り入れること	当時の日本は、強大な中央集権国家であった唐の法律（律令）や仏教、芸術などを学ぶことで、日本の国家体制を整えようとしていました。この使節団には、役人のほかに最澄や空海のような学問僧、さらには留学生も多く含まれていました。
問6	答え 1 各地の特産物を都まで自力で運ぶ必要があり、運搬の費用や食料も負担者側が用意した。	「調」は単に産物を納めるだけでなく、それを地方から都まで運ぶ「運脚」の負担が非常に重かったことが特徴です。運搬中の食料（道糧）も自前で用意しなければならず、農民にとって大きな生活の負担となっていました。また、この税は主に成人男性（正丁など）に課せられたものでした。
問7	答え 1 平城京を造営し、国家の威信を内外に示した	奈良時代に建設された平城京は、古代の律令国家がその安定した統治能力と経済力を示すために行った象徴的な事業です。選択肢にある御成敗式目（鎌倉時代）、廃藩置県（明治時代の出来事）であり、古代の天皇を中心とした国づくりの文脈とは異なります。
問8	答え 1 当時の東アジアで強大な勢力を持っていた唐の長安を模範とし、大規模な都市計画に基づいて建設された	平城京の建設には、律令国家としての威信を内外に示す目的がありました。そのため、当時の先進的な文明国であった唐の首都・長安をモデルにした大規模な都市計画が実行されました。南北に走る朱雀大路を中心に、整然とした碁盤の目状の街並みが広がる構造は、集権的な国家体制を象徴するものでした。
問9	答え 1 防人	奈良時代の律令制度では、大宰府が置かれた九州北部の防衛が重要視されました。東国（現在の関東地方など）から徴兵された農民が、3年間の任期でこの任務に充てられましたが、食料や武器を自ら負担しなければならず、農民にとって極めて重い負担となりました。平安時代以降に導入された地方の有力者の子弟による軍事制度である「健児」や、都の警備を担当する「衛士」とは区別されます。